

障害者施設商品の計数管理セミナー⑦目標管理（作業所での仕事の進め方）

日時：2015年11月18日

場所：梅田スカイビル タワーウエスト22階 会議室

【概要】

施設の運営方針に従って達成すべき年間目標を

その目標に対してどのようにどのレベルまで達成するか

年間通してたくさん業務 毎日の忙しさに自己満足していないか

上から押し付けられた目標管理ではない「自主性」がポイント

→自己成長 職員の成長は施設の力

福祉の職場では利用者も職員も仕事の中にやりがいと生きがいを感じ、なおかつ実績が伴うものにしたい

具体的な手法

目標設定は絞る 法人の運営方針に沿ったもの できるだけ数量化、スケジュール化

スローガンの・漠然としたものはつかみどころがない 測定可能な目標設定を

作業所における目標の例

数量化→金額(売上高・粗利益・利用者の給料等)数量（販売先・利用者の出勤日数等）

比率（売上げ・粗利益・伸び率等）

状態・状況・スケジュール化→商品、作業、作業所の環境改善 利用者の職業訓練

目標は努力すれば達成できる今より少し高めレベル

演習 重点課題目標の作成

「何を、いつまで、どのように」を深めていくことが大事

社福の内部留保や税制優遇の件で風当たりがきつくなっている

法人自らマネジメント力の強化、外部環境の変化に耐えられる体制作りが必要

【参加者の声】

- ・課題目標の演習をさせていただいたことと他の作業所の方のお話を聞かせていただいたことが非常に良かったです。
- ・目標を具体的に持って話をする事の大切さが心に残りました。私はその日がいっぱいいっぱいになかなか半年後このようになってほしいと具体的に目標を立てることがなかったので、今回このような時間を作れたことは良かったと思います。
- ・目標をどのように設定し、進めていくのか。
- ・演習を行ってどの施設も迷いや悩みがあるんだと実感しました。
- ・どのレベルまでどのようにして「いつまでに」を具体的に決めること！目標や手段は決めていても、期日を決めることは大切であると改めて感じると共に耳が痛くもありました。
- ・作業所の今後存続していくためには職員の成長にかかっている！福祉の専門性と事業の専門性を合わせ持つ職員が必要。
- ・研修に参加させていただき、目標を明確にすることができました。貴重な研修、ありがとうございました。
- ・事業計画（作業班ごと）を立てたり、毎日の会議で目標や進捗を確認したりしていますが、このように表にまとめることはしていないので、良い勉強と頭の中の整理になりました。表にしてそれを元に進捗確認することで計画的に進められるだけでなく、職員間の情報共有にも繋がると思いました。
- ・参加させていただいて習ったように、目標設定を具体的にしていきたいと思います。
- ・それぞれの事業所の目標や課題が共有出来て良かったです。これない日もありましたがとても勉強になりました。明日からの実践に活かしていきたいと思います。
- ・柏木講師のお話はとても聞きやすく勉強になりました。自身の力のなさが「難しかった」という感想に至るわけですが、意識改革をしていきます。